

2013年

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1 	2
3	4	5 	6 	7 	8 	9
10	11	12 	13 	14 	15 	16 
17 	18	19 	20 	21 	22 	23
24 30	25 31	26 	27 	28	29 	30

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1 	2
3	4	5 	6 	7 	8 	9
10	11	12 	13 	14 	15 	16 
17	18	19 	20 	21 	22 	23
24	25	26 	27 	28 		



## 「立春」の候、新年の始まり

旧暦では、2月4日から18日頃を「立春」と言い、新年になるそうです。

2月4日、89歳にして私の母がこの世を旅立ちました。

私の母は心配性で、私のすることを何かにつけ、心配し口出ししました。私はそれに反抗しつつ押し切れず言うことを聞いてしまうことも多々ありました。

しかし、認知症になってから…特に晩年の母は違いました。

私が疲れ落ち込み、母のそばで思わず泣いてしまうと、母は、「ええ子やなあ。ほんとにええ子や」そう言って私の頭をずっとなでてくれるのです。すると、私は気が楽になり、「私にできることをしよう」とまた元気が出てくるのでした。

親の愛とは、究極のところ、これだけで十分なのではないだろうか？

むしろ、私たちは、口出し、手だしができるばかりに、このように自ずと湧いてくる安心感ややる気をつぶしてしまっていないだろうか？

そんなことを思うようになりました。

終盤、体を動かすことも話すことも食べることもできなくなった母に私ができることは、母の硬直した体をさすり、「お母さん、がんばるとるなあ。すごいなあ」と笑顔で伝えること。笑顔が返ることはなくても、何かしら応答を感じるものです。安心したように眠りにつけば、私も安心させてもらいました。


その母が最期の力を振り絞ったのでしょ。なんと逝く寸前に微笑んだのです。それが、どれほど私たちに安心と力をもたらしてくれたことか。

母が最期まで生きぬいた様から人間の本質を教わったような気がしています。最後の最後まで、どんな状態になろうと、人はよく生きようとしているんだと。教室の皆様にも長く温かく見守っていただき、本当にありがとうございました。忘れえぬ新年、私の新しい人生の始まりです。

### 教室のある日



ありの読書会…10:00～12:30 参加費：300円  
「どの子どもよく生きようとしている」という人間観で教育から見直しています。  
今は、ありの読書会の原点「ありの本」を読んでいます。  
★ 参加されたい方は事前にお知らせくださいね。

 縁側の日…10:30～12:00 参加費：300円 場所：S.L.S.すぎな  
毎月第2火曜日にしています。  
認知症に関心のある方、どなたでもどうぞ！  
★3月は、17日（日）です。  
★ 参加される方は、事前に連絡してください。

〒514-0821 三重県津市垂水 1200-7

★豊吉晴子★S.L.S.すぎな★  
TEL/FAX：059-222-9077  
E-mail：[haru\\_sugina1044@wave.plala.or.jp](mailto:haru_sugina1044@wave.plala.or.jp)  
ホームページ：<http://www.sugina3.com/index.htm>  
※引越しました。

ブログ：[http://blog.goo.ne.jp/s\\_l\\_s\\_sugina/](http://blog.goo.ne.jp/s_l_s_sugina/)



## 「自分でやりたい・できる芽」つぶさないように

Aちゃんは、6歳。この4月から小学生（昨年12月に入会）です。週に2回来ています。

幼—3、幼—4、幼—5とどんどん進んできたときです。幼—5を家でやって教室に来ると、「幼—5はやりたくない！むずかしいもん」と言いました。

そこで、幼—4をやってみると、できています。

でも、宿題のプリントを決めるときには、「いやや！幼—4むずかしいから。幼—3もいや！」と言いました。

さて、こういうとき、あなたなら、どうしますか？

「さぼりたくて楽な方を選んでるんじゃないか」  
「自信がないのではないか」

と思い、

「ちゃんとできてるよ。自信持ってやってみよう！」

「大丈夫！できる、できる！」

と励まして、やらせようとする。

この教室をする前の私なら、きっとそうしたでしょう。

でも、今の私は、そうはしませんでした。

「むずかしいもん！」の言葉をまず受け止めます。

大人から見たら、簡単にやっているように見えても、鉛筆を持って字を書く。しかも、教えてもらわずに自分で考えて書いているのです。

これって、すごいことだと思いませんか？

私には、かなりの集中力と神経を使っているのが、伝わってきます。

そこで、私が幼—2を見せると、Aちゃんは、「これ、する」と喜んで言います。

幼—2だけでもいいのですが、私は、幼—3も見せて、2枚することを提案してみました。

すると、「やる！」と言います。

2枚をしようというのですから、決してAちゃんが、サボりたくて言っていたのではないことがよくわかります。

その2週間後、Aちゃんは教室に来るなり、自分で幼—4をやり始めました。とっても嬉しそうです。前より、ずっとスラスラになっていました。

そして、後日、あの幼—5のプリントも自分で持ってきて、見事合格しました！

練習が必要なときには、ちゃんと本人が教えてくれるのですよね。幼児でもちゃんと！です。

その後のAちゃんの変化は……

- 「あっち行って」とお母さんにも私にも言うようになりました。  
⇒「自分でやりたい」「口出さないで」の意思表示
- ストップオッチも使い始めました。  
⇒ 時間や器具を使うことに関心が出てきた。
- 合格できなくて、ひと泣きした後、そのプリントを自分で持って帰りました。  
⇒ 自分で立ち直って、にげなかった！
- 今は、幼—6のプリントを毎日コツコツとやっています。  
⇒ すぐに合格しなくてもめげない！

「自分でやりたい気持ち」

「自分でできること、できる力」

それは、子どもであろうと大人であろうと、一人生きて行くために大切なもの。

それをつぶさず、大切にしていけるためには、子どものそばにいる大人も育っていくことが必要ではないでしょうか？

きっと、子どもだけでなく、大人にも、いい作用をもたらしてくれると思いますよ。

親御さんも一緒に楽しみましょう！